

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	国際交流センター維持補修事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市国際交流センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	国際交流センターは、外国諸都市との相互理解と友好親善を深め、市民と外国人との交流、国際交流に関する普及啓発等を行う活動の拠点となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民が快適に利用できる状態を維持する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市国際交流センターの利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	清掃等の日常業務に加えて設備の定期的な保守点検、修繕を行い施設を適切に管理する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	4,982千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	453千円
	一般財源	4,529千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	26国際交流費
細目	005国際交流事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	4,982千円	5,158千円	5,167千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民と外国人との交流や国際交流に関する普及啓発等を行う活動の拠点である国際交流センターを適切に維持管理することができた。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	国際交流センター維持補修事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,434	267,043	268,053

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
実施事業数	事業	32	31	35
活動指標分析結果	国際交流に関する事業数は平成26年度に比べ1事業増加し32事業となった。実施できる事業数には限度があるが、事業内容を精査し、より魅力のある事業を展開することが求められている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
国際交流の目的で使用したセンター利用者数(延べ人数)	人	18,554	20,036	18,573	平成30年度	18,900
成果指標分析結果	市民会館の大規模改修による休館に伴い一時的に利用者が増えた平成26年度(20,036人)と比べると平成27年度は1,482人減少となったが、平成25年度(18,573人)とほぼ同数となっている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	国際交流委託事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川市の国際交流事業については、公益財団法人加古川市国際交流協会に委託することで実施している。これまで継続して実施してきた事業により、国際交流事業は市民・市内在住外国人に広く知られるところである。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の国際交流と国際理解を高めるとともに、外国諸都市の相互理解と友好親善を深める。また、外国人居住者の生活に関する問題解決を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民、姉妹都市等の外国人
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	公益財団法人加古川市国際交流協会に国際交流事業を委託する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	3,770千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,770千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	26国際交流費
細目	005国際交流事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	3,770千円	4,787千円	6,737千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	国際交流事業を公益財団法人加古川市国際交流協会に委託し、実施することで、多文化が共生する心豊かな社会の実現に資することができた。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	国際交流委託事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,434	267,043	268,053
市内在住外国人	人	2,501	2,448	2,426

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
実施事業数	事業	32	31	35
活動指標分析結果	事業数は妥当と考えるが、より多くの市民の参加につながる事業展開については、連携中枢都市との情報交換等により調査研究を進める。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業参加人数	人	1,671	1,768	1,789	平成28年度	1,800
成果指標分析結果	レアル安等に起因してブラジル・マリンガ市青年訪問団受入事業が実施されなかったことに加え、外国人のための日本語教育個人指導の対象件数が前年度と比べ減少したことから、事業参加人数は減少となった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	文化活動振興に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法

【事業概要】

現状と課題	文化活動振興にかかわる一般的な経費を必要最小限負担。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	文化的な市民生活の向上を図る。芸術文化団体や寄附申出者への情報提供やさらなる文化振興を促す手助けをする。
対象 ※誰、何に対して	市民、各種文化団体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	ロビーコンサート開催、文化振興のための寄附申出者への感謝状作成、東播磨文化団体連合との調整業務など、文化振興のために必要な事務を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	182千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	182千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	020文化活動振興事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	182千円	468千円	168千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 文化振興に関する一般経費として必要最小限な内容であり、このまま維持していくべきと考える。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	文化活動振興に要する一般的経費	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	市民会館管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和48年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法、加古川市民会館条例、加古川市民会館条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	市民会館は、市民文化の向上と福祉の増進を目的として昭和48年にオープンした。平成21年度より指定管理者制度を導入し、民間活力によるより効果的な施設の管理運営を実施しているが、市民ニーズが多様化する中、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供するとともに、集会・研修会をはじめとする諸会議等幅広く貸館業務を行う。なお、事業実施にあたっては、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	172,174千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	932千円
	一般財源	171,242千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	13市民会館費
細目	005市民会館管理運営事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	172,174千円	83,214千円	75,866千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした事業展開、管理運営がなされており、サービスの質が確保されていると評価している。今後とも、市民に親しまれる魅力のある施設となるよう、より効果的なモニタリングの手法について検討する必要がある。また、平成25年9月から1年間改修工事を行ったが、工事に該当していない設備の老朽化が著しいため、安心して利用できるよう計画的な改修が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	市民会館管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
市民(10/1付推計人口)	人	267,434		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指定管理者自主事業入場者数	人	12,105		
活動指標分析結果	平成27年度における指定管理者目標値5,940人に過去平均増加率より年1%の増加を見込む。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	228,326			平成32年度	223,865
成果指標分析結果	平成27年度における指定管理者目標値213,000人に過去平均増加率より年1%の増加を見込む。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	松風ギャラリー管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成6年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立松風ギャラリーの設置及び管理に関する条例、条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	民間活力による効果的な施設の管理運営を実施するため平成21年度より指定管理者制度の導入を行ったが、今後市民ニーズの多様化に対応するため、施設の管理方法について検討する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供するために貸館業務を行う。また、芸術文化の振興を図るため自主事業を実施する。なお、管理運営については、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	16,413千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	16,413千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	005松風ギャラリー管理運営事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	16,413千円	16,311千円	13,745千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者制度の導入により、指定管理者による管理運営がなされており、サービスの質が確保されている。施設規模や貸館数も少ないことから、今後はより地域で利用してもらう方法を模索する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	松風ギャラリー管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
市民(10/1付推計人口)	人	267,434		

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指定管理者自主事業入場者数	人	1,732		
活動指標分析結果	平成27年度における指定管理者目標値1,284人に過去平均増加率より年1%の増加を見込む。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
施設利用人数(実績)	人	23,278			平成32年度	21,546
成果指標分析結果	平成27年度における指定管理者目標値20,500人に過去平均増加率より年1%の増加を見込む。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	総合文化センター管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和60年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川総合文化センターの設置及び管理に関する条例、条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	民間活力による効果的な施設の管理運営を実施するため平成21年度より指定管理者制度を導入している。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供する貸館業務や、主に文化、考古、宇宙科学等にふれる機会として自主事業を行う。なお、管理運営にあたっては、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	98,490千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	3,695千円
	一般財源	94,795千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	18総合文化センター費
細目	005総合文化センター管理運営事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	98,490千円	98,474千円	96,125千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした事業展開、管理運営がなされており、サービスの質が確保されていると評価している。今後とも、市民に親しまれる魅力のある施設となるよう、より効果的なモニタリングの手法について検討する必要がある。また、開館後相当年が経過しており、設備の老朽化が目立ってきたため、安心して利用できるよう計画的な改修が必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	総合文化センター管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
市民（10／1付推計人口）	人	267,434		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指定管理者自主事業入場者数	人	7,611		
活動指標分析結果	平成27年度における指定管理者目標値5,234人に過去平均増加率より年1%の増加を見込む。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	157,826			平成32年度	177,936
成果指標分析結果	平成27年度における指定管理者目標値169,300人に過去平均増加率より年1%の増加を見込む。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	美術展・幼児画展開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和26年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成16年度から実施しており、加古川市美術展・幼児画展ともに市民に定着し、出品数・来場者数も一定の水準を保っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	美術愛好家の創作意欲の高揚や、入賞作品の鑑賞を通じて地域の芸術活動の振興となることを目的とする。また保育園・幼稚園児の豊かな感性を育て、創作活動の発表の場を提供する。
対象 ※誰、何に対して	美術愛好家、市内各幼稚園・保育園児
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市美術展(日本画・洋画・写真・書道・彫塑・工芸)、幼児画展を委託して開催する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	4,392千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,392千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	015美術展開催事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	4,392千円	4,644千円	4,670千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	創作意欲の高揚や、鑑賞による芸術活動の振興、幼児の豊かな感性の育成など、地域の芸術文化振興を図るために継続していきべき事業である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	美術展・幼児画展開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,434	267,043	268,053

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
美術展開催日数	日	8	8	8
幼児画展開催日数	日	3	3	3
活動指標分析結果	美術展及び幼児画展とも、来場者数は直近3年間において一定の水準を維持している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
美術展観覧者数	人	3,194	3,396	3,858	平成27年度	3,200
幼児画展観覧者数	人	3,333	3,482	3,404	平成27年度	3,400
成果指標分析結果	美術展の出品点数は年々微増している。幼児画展の参加園はほぼ一定数ではあるが、出品点数は増加している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	文化まつり開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和39年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法

【事業概要】

現状と課題	市の委託事業ではあるが、参加費無料の催しのため、各団体の費用持ち出しが多い。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	各文化団体に広く発表の機会を与えるとともに、市内各施設にて多種多様なジャンルのイベント等を開催することで、市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供する。
対象 ※誰、何に対して	文化連盟加盟団体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各種文化団体が所属する文化連盟に委託し「文化まつり」を開催する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,400千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,400千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	020文化活動振興事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,400千円	2,400千円	1,400千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	さまざまなジャンルの文化・芸術に、市民が身近にふれる機会を提供していくために必要な事業である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	文化まつり開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
文化連盟加盟団体数	団体	22	22	23

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
文化まつり参加団体	団体	20	20	20
活動指標分析結果	27年度は日本舞踊が文化まつりに参加した（3年に1度の参加）。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	16,000	16,986	15,599	平成27年度	17,000
成果指標分析結果	25年度は、市民会館の改修による会場変更のため減となった。文化まつり開催事業への参加者数は近年特に大きな変化はないが天候に左右される。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	加古川清流戦開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	四段、三段棋士という将来の活躍が期待される若手棋士の登竜門となる公式棋戦という特徴がある。日本将棋連盟からは最低5年間は継続開催することを条件として公式棋戦を創設した経緯がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	将来の活躍が期待される若手棋士のタイトル戦を行うことにより、「棋士のまち加古川」を市のみならず全国に継続的に発信するとともに、将来のプロ棋士を育成できる土壌を育む。
対象 ※誰、何に対して	若手棋士及びイベント参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	四段、三段棋士を中心に、女流棋士及びアマチュア代表等を加えたトーナメント戦を実施する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	23,802千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5,290千円
	一般財源	18,512千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	040加古川清流戦開催事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	23,802千円	23,639千円	23,802千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	若手棋士の登竜門となる公式棋戦「加古川清流戦」を通して、「棋士のまち」を全国に発信していくためには継続した開催が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	加古川清流戦開催事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川清流戦出場者	人	44	44	44

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
日本将棋連盟契約金	円	13,000,000	15,000,000	15,000,000
活動指標分析結果	今後もさらなる事業のPRに努め、参加者の増加を目指す。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
集客数	人	556	390	518	平成27年度	600
成果指標分析結果	26年度は決勝戦3番勝負のうち、2局しか行われなかった(24、25年度は3局)。27年度は3局。ゆかりの棋士の出場により観客数が過去最高となった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	棋士のまちPR事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成25年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	「加古川清流戦」を盛りあげ「棋士のまち加古川」をPRするための事業を実施している。「棋士のまち」を全国的にさらにPRするとともに、市民が将棋文化にふれる機会を創出していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川清流戦開催事業と相乗し、ゆかりのプロ棋士と連携をとりながら「棋士のまち加古川」を全国PRし、市民への将棋文化の普及啓発を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	マスコミへのPR、パンフレットの配布、将棋文化振興自治体サミットへの参画、将棋文化普及のためのイベントの開催などを行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,830千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,830千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	045棋士のまちPR事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,830千円	1,830千円	1,830千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	加古川清流戦開催事業と相乗し、「棋士のまち加古川」を発信することで、加古川市を全国にPRし、市民の地域愛や郷土愛、ふるさと意識を醸成している。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	棋士のまちPR事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,434	267,043	268,053

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
棋士のまち加古川パンフレット発行部数	部	1,500	3,000	6,000
棋士のまち加古川将棋フェスタの開催	回	1	1	1
活動指標分析結果	「棋士のまち加古川」を全国に発信するとともに、地域の将棋文化の振興を図った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
将棋サミット参加自治体	団体	15		15	平成32年度	20
成果指標分析結果	将棋サミットは26年度は開催されなかった。「棋士のまち加古川」を市内外にPRした。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	芸術家支援・育成事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成27年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成26年度の公開事業評価の結果を受け、若手芸術家の支援・育成を図るため、平成27年度から補助事業ではなく市の主催事業として実施している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	若手芸術家に発表の場を提供するとともに、市民にクラシック音楽に触れる機会を提供する。
対象 ※誰、何に対して	音楽大学等を卒業予定の2市2町出身・在住の新人クラシック演奏家、一般市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	音楽大学等を卒業予定の2市2町出身・在住の新人クラシック演奏家の新人演奏会(入場料無料)を開催する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	6,656千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	6,656千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	020文化活動振興事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	6,656千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市が地元の若手芸術家を支援し、文化芸術を育成する風土を醸成していくためには継続が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	芸術家支援・育成事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,434		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
事業実施回数	回	1		
活動指標分析結果	音楽大学等を卒業予定の2市2町出身・在住の新人クラシック演奏家の新人演奏会(入場料無料)を開催した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	265			平成32年度	300
成果指標分析結果	無料で開催することにより、多くの市民の方にクラシック音楽にふれていただく機会を提供することができた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	地域の文化・芸術活動補助事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成27年度～平成27年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	森はなの生涯を「朝の連続テレビ小説化」に向けた活動や、森はな作品を普及する市民活動団体などが継続的に活動している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	児童文学作家・森はなゆかりの本市・朝来市・高砂市の3市が連携し、森はなを市民に周知し「いとおしむ心」に触れ、心豊かな生活の一助とするとともに、ふるさと意識を高める。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民会館指定管理者が事業を実施し、その経費を補助する。作品の朗読や、地元の中・高校生の合唱の2部構成の公演を実施した。また、地域交流事業として、森はな作品の大型紙芝居公演を実施した。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	1,305千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	870千円
	一般財源	435千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	050地域の文化・芸術活動補助事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	1,305千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	<p>本市にゆかりのある児童文学作家・森はなを市民に周知し、森はな文学の根底に流れる、故郷・人・自然を「いとおしむ心」に触れ、心豊かな生活の一助とするとともに、ふるさと意識を高めることができた。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	地域の文化・芸術活動補助事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,434		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
事業実施回数	回	4		
活動指標分析結果	市民会館での本公演(朗読と合唱)と、関連する地域交流事業(大型紙芝居公演)を市内3ヶ所で開催した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	1,685			平成27年度	1,500
成果指標分析結果	市民会館で開催した公演についてはチケットが完売し、多くの市民の方に、市ゆかりの児童文学作家・森はなの作品に触れていただくことができた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	文化財保護に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、文化芸術振興基本法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	2001年の文化芸術振興基本法の制定を経て、文化財保護を含む文化の更なる社会的認知がなされてきている。近年は、可能な限り他の補助金事業（緊急雇用就業機会創出事業）を活用して、同様の事業を振替えてきたが、補助金事業が終了したため、本来の事業規模に戻していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の文化財保護意識を高め、文化財の公開等活用を進めながら、次世代のために文化財を良好な状態で保存する。
対象 ※誰、何に対して	指定・登録文化財及び遺跡を中心とした文化財及び全市民が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	文化財保護行政に係る事務を適切に行うとともに、文化財講座の開催、文化財ニュースの発行、文化財説明板等の設置、文化財の情報提供等により文化財保護意識を高める事業を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	2,299 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	33 千円
	一般財源	2,266 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	010文化財保護活動事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	2,299 千円	1,998 千円	2,074 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	文化財事務全般としては、体制の充実や予算の増加など抜本的な見直しが必要である。この事務事業に限れば、老朽化した文化財説明板等の整備、文化財の保存と活用、文化財に関する情報発信など、積み残しになっている多くの問題と課題を優先順位を定めて取り組んでいく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	文化財保護に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	史跡等維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、文化芸術振興基本法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	2001年の文化芸術振興基本法の制定を経て、文化財保護を含む文化のさらなる社会的認知がなされてきていると言える。また、里古墳及び平木橋等、新たに草刈等を行う必要のある管理すべき文化財が増加している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市が管理する建造物及び史跡等の文化財を適切に管理する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市が管理する、本岡家住宅、史跡西条廃寺、西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)、日岡山古墳群(南大塚古墳、西大塚古墳等)、里古墳、平木橋等の建造物及び史跡等の文化財、及び全市民が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市が管理する建造物及び史跡等の文化財について、草刈、清掃、建物の維持管理を行う。また必要に応じて見学者への対応を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	2,196千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	103千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,093千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	010文化財保護活動事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	2,196千円	1,976千円	1,969千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 草刈をはじめ対象面積と頻度が十分でない状態であるが、経費を増やすことが難しいため、現状を基本に、現場の状況に応じた部分改善を行っていく必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	史跡等維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	指定文化財保存管理補助事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定文化財の保存管理は、基本的には時代によって変化するものではない。一部この補助制度を活用しても所有者等に半額以上の負担があるため、所有者が不明となっている石造品等について、管理団体に指定されている町内会が経費負担しにくいものについての対応などの問題が出始めている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	指定文化財を適切に保存管理することができ、また、公開されることで、文化財の保護と活用が進む。
対象 ※誰、何に対して	市内の指定文化財のうち、修理又は保存管理等文化財保護のため、所有者等の特別な負担があり、補助が必要な文化財が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	指定文化財の状況を把握し、所有者等からの申請を受けて、必要に応じて補助を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	2,083 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,083 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	010文化財保護活動事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	2,083 千円	464 千円	320 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	保存管理内容や修理内容は、対象となる文化財の状況によってさまざまであり、個別に判断していく必要がある。今後も、整備及び修理の計画があるため、適切に対応する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	指定文化財保存管理補助事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指定文化財件数	件	119	117	116

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
文化財補助金申請件数	件数	5	4	4
文化財補助金申請額	千円	2,083	464	320
活動指標分析結果	指定文化財の保存管理及び修理に対する補助金申請の件数と総額を指標とすることで、この事業の活動の規模を確認できると考える。修理保存事業が多かった平成24年度の反動で、平成25年度及び26年度の補助事業が少なくなっている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
文化財補助金事業実施件数	件	5	4	4	平成32年度	6
文化財補助金事業補助金交付額	千円	2,083	464	320	平成32年度	1,320
成果指標分析結果	保存管理及び修理の内容の詳細は数値化することに馴染まないため、補助金申請に基づいた実施件数と補助金交付額指標とすることで、この事業の成果の規模を確認できると考える。補助事業が少なかったこともあり計画どおり実施した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	文化財調査事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	公共事業等が進む中で、溝之口遺跡や坂元遺跡の中での開発に最優先に対応する必要があった。このため、他の遺跡や文化財の調査などが先送りにされ、また、現場作業に追われ、調査報告も十分に行われていない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	文化財を、開発や不適切な行為による破壊、消失、損傷などから防ぎ、適切に保護するための調査事業である。
対象 ※誰、何に対して	開発に伴い破壊の恐れのある埋蔵文化財、及び保護のための調査が必要なその他の文化財を対象とする。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	開発に伴い破壊の恐れのある埋蔵文化財については、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為の前に確実に確認調査等を実施し保存に努める。その他の文化財については、保存のための調査が必要な場合に適切な調査を実施する。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	7,494千円	
財源内訳	国庫支出金	3,000千円
	県支出金	1,500千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,994千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	005文化財調査事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	7,494千円	2,804千円	2,004千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	開発に伴う埋蔵文化財事務処理及び調査の件数が大きく増加している中、現在の体制では、緊急性の高い発掘調査の現場対応だけで手一杯の状況である。また、過去の発掘調査に伴う出土遺物整理や調査報告等の事務が積残しになっている。今後、道路建設事業やほ場整備事業に伴う大規模な発掘調査の計画があり、積残しの事務の解消と合わせ、文化財調査と事務的なバックアップ体制の整備・拡充が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	文化財調査事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
埋蔵文化財包蔵地件数	件	637	637	637
指定・登録文化財件数	件	156	154	153

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
文化財調査依頼等件数	件	212	207	65
活動指標分析結果	開発に伴う埋蔵文化財確認調査及び埋蔵文化財本発掘調査をはじめ、必要な埋蔵文化財の調査を中心に対応することを指標とする。その他の文化財については、現状では軽易なものしか行っていないが、今後、文化財保護のために必要な調査を実施する方向を考えている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
文化財調査実施件数	件	70	73	38	平成32年度	33
文化財調査報告件数	件	0	0	0	平成32年度	3
成果指標分析結果	必要な文化財調査を実施することを第一の成果指標とし、調査報告書の発行を第二の指標とするが、現場作業に追われ調査報告書の発行に至っていないところは課題である。					

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	人塚古墳整備事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成17年度～平成28年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	文化財保護法

【事業概要】

現状と課題	平成7、8年の行者塚古墳の整備事業に先立つ調査で、わが国の古墳時代の研究のために極めて貴重な成果が多数あった。平成17年に事業が開始され、古墳の形状等を確認する調査を行うとともに、現状をできるだけ活かした方法で、園路整備などの事業を進めている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	国指定史跡西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)を整備することにより、史跡の保存と活用を図るため。
対象 ※誰、何に対して	国指定史跡西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)のうち人塚古墳(山手2丁目)が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	国指定史跡西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)の発掘調査成果を活用し、臨場感のある史跡整備を行う。

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	6,476千円	
財源内訳	国庫支出金	3,200千円
	県支出金	1,600千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,676千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	015西条古墳群史跡整備事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	6,476千円	9,191千円	7,174千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	<p>西条古墳史跡整備事業全体の中で、全体の93パーセントの進捗状況となる。平成28年度の事業完了に向けて引き続き史跡整備工事と報告書作成作業に取り組んでいく必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	人塚古墳整備事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,434	267,043	268,390
国史跡西条古墳群のうち人塚古墳の面積	m ²	9,123	9,123	9,123

【事業実績】

活動指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
西条古墳群史跡整備事業計画率	%	93	85	75
活動指標分析結果	西条古墳群史跡整備事業全体の中で、事業費ベースの計画目標の率を活動の指標とした。ほぼ計画どおりである。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目標値
西条古墳群史跡整備事業実施率	%	93	85	75	平成28年度	100
成果指標分析結果	西条古墳群史跡整備事業全体の中で、事業費ベースの事業実施率を活動の指標とした。ほぼ計画どおり実施した。					